

市内を巡って魅力を再発見!

成田 ちよい旅

第4回 公津の杜駅から

普段は通り過ぎてしまう道も、ゆっくり歩いてみたら面白い発見があるかも。市内の道を実際に歩いて見つけた、すてきなスポットを紹介します!



麻賀多神社の大杉

樹齢1,400年近くと伝えられる東日本一の杉。不老長寿祈願の御神木として崇拝されていて、パワースポットとしても有名です。



橋賀台公園



公津の杜駅のモニュメント

改札を出てすぐの不思議な形のモニュメント。弦楽器のハープをモチーフにしていて、人と街が一緒になってハーモニーを奏でるようにとの意味が込められているそうです。

「こどもの日」の公津の杜公園

昨年4月にリニューアルされた、カラフルな遊具が目目を引く公津の杜公園。毎年こどもの日前後に見られる、たくさんのこいのぼりが空を泳ぐ姿は圧巻です。



公津の杜公園

公津の杜駅

宗吾霊堂の桜

梅雨時のアジサイ、9月の御待夜祭が有名な宗吾霊堂ですが、春には桜も楽しめます。今回は公津の杜駅から歩きましたが、最寄りには宗吾参道駅。ゆっくり歩いておよそ15分です。



実際に歩いてみました



今回は公津の杜駅をスタートし、公津の杜公園、宗吾霊堂、麻賀多神社を回り、およそ10km、1万5,000歩を歩きました。図らずも3回連続でほぼ同じ距離、歩数となりましたが、前々回の下総地区・前回の大栄地区とは違った魅力がありました。駅周辺の住宅や商業施設などが整備されたエリア、麻賀多神社や宗吾霊堂付近の自然を感じられ

るエリアと、幅広く楽しめるコースでした。

今回印象的だったのは麻賀多神社の近くでの出来事です。高い樹木が並んでいる道を歩いていると「ホーホケキョ」の鳴き声。その姿を収めようとカメラを構えましたが、木々の緑を捉えるのみで、撮影することはできませんでした。春の訪れを感じるとともに、カメラ片手に歩いていると、道中出くわすことをさらに楽しめるかもと実感した出来事でした。

編集後記

毎月15日号で連載している「成田ちよい旅」。撮影は天気との戦いでもあります。今回撮影を予定していた3月下旬は、あいにくの雨続き。なんとか都合をつけて貴重な晴れ間に撮影することができました。「季節の変わり目は雨が多いな」と調べてみると、3月下旬から4月上旬までの菜の花が咲く頃の長雨は「菜種梅雨」と呼ばれているそう。夏前の梅雨も気になりますが、まずは一度「梅雨明け」して、気持ちよく晴れた日が続く頃に次回の撮影に臨みたいものです。

令和6年4月15日号 No.1505

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です



*本紙は4月4日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。